

環境まちづくり 会報

題字/福田博子

編集・発行/入間市環境まちづくり会議

新しくなりました

5月の総会において環境まちづくり会議の体制が新しくなりました。

会長 内村忠久氏
副会長 二ノ宮小百合氏
副会長 石本勝彦氏

新会長あいさつ



私は、平成19年5月26日に開催されました定期総会におきまして、会員みなさまのご承認をいただき、この会の会長という大役を引き受けることとなり、改めて責任の重さを痛感しております。

さて、この会は、入間市内で生活や事業を営む市民、事業者、民間団体と行政がつながり、お互いに協力・連携を

しながら、「環境にやさしいまち入間市」を築いていくことを目的とした組織でございます。

また、この会の活動の基本となるものは、私たち一人ひとりの環境に配慮した自発的な取り組みで、身近にできることから、環境にやさしい行動の輪を家庭、学校、地域や職場などに、広げていくことができればと考えているところでもあります。

今後、この会の趣旨に賛同し、入会いただいた約400人の会員みなさまと一緒に、活発な意見交換や活動による汗を流しながら、この会の運営及び環境にやさしいまちづくりのために微力ながら努力をしてみたいと考えております。関係者の方々の暖かいご指導と、全面的なバックアップをお願い申し上げます。

新しい運営体制 二ノ宮小百合 副会長

環境にやさしいまち「入間市」をつくっていくため、市民、事業者、民間団体および市がお互いに協力し合いながら「入間市環境基本計画」を具体的に進めるため、平成13年7月に設立された『入間市環境まちづくり会議』の会員数は11月現在415名となりました。

運営委員は会長1名、副会長2名、メンバー17名で構成され、入間市環境まちづくり会議としての体制は、現在2つの委員会と3つの部会があります。

総務広報委員会

会報の発行・ホームページなど。

事業推進委員会

環境ウォーキング・生涯学習フェスティバル参加・環境大賞・環境学習会など。

委員会メンバーは運営委員で構成しています。

みんなのごみ部会

ごみひろい隊・生ごみ堆肥化プロジェクトなど。

地球温暖化防止部会

エコライフDAYの推進など。

水と緑の部会

水と緑の提言に関わる現地調査など。

部会メンバーは会員で構成しています。

7年目に入り会長も変わり、気持ちも新たに環境にやさしいまちをつくっていきたいと思っています。しかし、まだまだ課題は多く、部会のメンバー不足、会費無料をどうとらえるのか、など運営委員メンバーも悩みながら、でも前向きに頑張っています。



各部会からの報告

生ごみの堆肥化に挑戦する みんなのごみ部会

平成17年から始めたNプロジェクト（生ごみ堆肥化）は、先ず最初にN1（家庭の生ごみを分別する実験）を実施した。これはメンバーが自

家でエコパラダイスペールというバケツを使用し、家庭内の生ごみを分別する。この結果、家庭から出る可燃ごみは約半分程度になることが判明、その他臭いだとか、バケツの取扱



生ごみの分別回収実験

記録用紙

各家庭の生ごみバケツ

回収用大型バケツ

計量用はかり

1週間ためた生ごみを集積所で大型バケツに移しているところ

ことができた。その継続としてN2（家庭の生ごみ堆肥化実証試験）プロジェクトを入間市内の牛沢地区の20世帯に方々に協力を頂き、平成19年度に4ヶ月間実施した。生ごみの収集から運搬、剪定枝を混ぜ堆肥化するところまで実施、その結果参加された20世帯の90%の方から可燃ごみが30〜50%減量したとの報告があり、又、殆どの方々がごみ減量のためには多少臭い等があるとしても「意義あること」との評価を



協力業者による生ごみの回収風景

得ることができた。部会では更なる発展を目指してN3（参加世帯200〜300世帯）を目指して計画中、ぜひみなさまのご協力をお願いいたします。（本多進 記）

活動を開始した 水と緑の部会

水と緑の部会は、市民の立場で入間市の水と緑の環境を保全・再生していくことを目的に設置され、毎月第2木曜日の夜間（19:00〜21:00）に入間市市民活動センターに定例会を行っています。これまで入間市の水と緑に関する計画、川の自然再生などについての勉強会を行ってきました。

今後、入間川・霞川などの調査を行い、入間市の水と緑のネットワーク形成に向けての具体的な施策提言に結びつけていきたいと考えて



旧サンクチュアリ付近の入間川

います。

会員のみなさまの積極的な参加をお待ちしています。（木内勝司 記）

エコライフDAY に取り組む地球 温暖化防止部会

待ったなし！

地球温暖化防止

今年「地球温暖化防止部会」が発足しました。メンバーは常時5〜8名程度、テーマは様々、今年の6月に太陽

光発電の街、群馬県太田市にある「パルタウン」を見学してきました。ここは700戸



の住宅の内550戸が太陽ソーラーの街でNEDOの補助金によって建てられました。最近の部会の活動は、一般家庭からの出るCO2が37%増加していることを考えて「エコライフDAY」によりCO2削減を目指した活動を計画中です。

(本多進 記)



環境に配慮した取り組み⑦

大和ハウス工業株式会社 所沢支店

大和ハウス工業株式会社では、持続可能な社会実現にむけて、全ての事業活動において環境への負荷を低減する取り組みを徹底し、人と人、人と自然が向き合える豊かな未来を構築していきます。

ぬ発見や人との交流も生まれてきます。

(総務課 渡邊賢二 記)

2年前に所沢エリアの支店をこの入間市で立ち上げる事となり、この言葉通りの活動をしていこうと決めました。社会の貢献、地域美化活動としての、入間市環境まちづくり会議(ごみひろい隊)への参加、埼玉県河川砂防課の水辺の里親(不老川の環境維持・保全活動)、そして、彩の国ロードサポート(道路環境清掃美化活動)と毎月忙しく、でも楽しくがんばっております。普段、車でしか通っていない道をゴミ拾いしながら歩く事で思わ



入間市環境大賞候補者推薦のお願い

入間市環境まちづくり会議では、市内の環境活動をより一層推進するため、市内の環境の保全及び創造に著しい功績のあった個人、団体および事業者に対する表彰制度を設けました。

記念すべき第1回の受賞者は、個人が、不老川流域川づくり市民の会の会長やさとやま探検隊の隊長として入間を舞台とした市民と自然とのふれ合いの場を提供し続けている相馬和彦さん。団体部門では、長年にわたり不老川流域における環境保全活動を実施している“入間市不老川をきれいにする会”が受賞しました。

今年度も私たちのふるさと入間の環境に貢献した個人や団体を表彰致します。環境まちづくり会議では、皆さまの推薦をお待ちしております。推薦の締め切りは、2008年1月11日(金)です。

連絡先:入間市環境まちづくり会議事務局(入間市環境経済部環境課)宛て

〒358-8511 入間市豊岡1-16-1

電話:04-2964-1111(内線1241、1243)、FAX:04-2965-0232

会員の声

地球の存続に協力し老後の生活の安定を築こう

今、地球規模で騒がれている温暖化、一人一人を考えて即、実行していく必要があります。私事ですがこの問題に取組み二十数年前より考えてきました。個人の家からCO2ゼロを目標に太陽光発電、風力発電、太陽熱利用に向かって前進中です。

現在、太陽熱温水器は二台を使用しており、家庭内のお湯として使用、四月から十月までの七カ月はガス、灯油の使用量はゼロです。また、5.4Kの太陽光発電所として店と教室、倉庫の電気として利用しており、来年度は光熱費ゼロを目標とし資金の調達に邁進しております。来年は満七十歳の古希、減収は間違いない、体力の衰えも明白

です。老後は光熱費とCO2ゼロ、そしてオール電化による安全性の向上、太陽光発電で電気代が生活費の一部として使用できるまでにと考えています。又地球の温暖化防止に貢献し悠々自適の余生を送りたいと考えています。採算性についてはまだまだ問題がありますが四年間の経験から今後その時代がやってくるかと確信しています。

(雨宮忠男 記)

環境まちづくり会議の主な活動記録

(2007年2月～11月)

- ・ 2月：さやま環境市民ネットワークとの交流会
- ・ 3月：新たに2部会が発足
(水と緑、地球温暖化防止)
- ・ 5月：第7回総会
(入間市環境大賞表彰、新体制発足)
- ・ 6月：環境展に参加
- ・ 10月：簡易包装・マイバッグ推進キャンペーンに参加
- ・ 11月：環境ウォーキング開催

埼玉県環境整備センターの見学と一緒に行きませんか！

日時：2008年2月12日(火)
参加対象：一般市民
参加費：¥1500円(昼食代等)
見学場所：

- ・ 環境整備センター内
- ・ オリックス資源循環(株)
- ・ (株)エコ計画

主催：入間市環境まちづくり会議
みんなのごみ部会

詳細は、1月1日の市報に掲載
します。

～～～編集後記～～～

人が生きて行くには、環境破壊がついてまわります。朝起きて電気を点け、お湯を沸かし、顔を洗い、また洗濯・掃除等々、今までは普通に行っていた一つ一つが、環境破壊とは気づかずに生活していました。それが、電気・水・ガス等の使用が少しずつ環境に影響を与えていたとは・・・。

以前にディーゼル車の排気ガスが問題になった事も思い出しましたが、ガソリン車でも化石燃料使用・排気ガス・熱の放出等様々な環境に与える影響があります。

この企画に参加し、今までと違う意識あるいは見方で「地球のあり方・環境」というものをより一層考えるようになりました。家庭や職場においても、節電・節水等の必要性を自信を持って話せるようになり、今後の入間市・日本・地球というモノの大切さを説明できるように努力したいと考えます。

(田崎 修司 記)

入間市環境まちづくり会議

事務局：入間市役所環境経済部環境課
住所：〒358-8511 入間市豊岡1丁目16番1号
TEL：04-2964-1111(内線1241,1243)
FAX：04-2965-0232
E-mail：ir210100@city.iruma.lg.jp

大豆油インキ「SOYINK」を使用しています
この広報誌は古紙配合率100%の再生紙を使用しています。